

設立の趣旨

少子・高齢化時代を迎え、独居高齢者の増加をはじめ、人々が生活していく上でさまざまな問題が生じています。とりわけ、高齢者が地域で自立して日常生活を行うことの難しさや、コミュニケーション不足も問題になっています。

その一方で団塊の世代の大量退職時代を迎え、これまでに蓄積した知識や技能を使って社会的な貢献をしたいと考える、健康で自立した人も増えてきています。しかし、こうした人材を活用するための様々な情報の発信が少なく、こうした情報を交換しあえるための推進役が求められています。

また、近年『協働のまちづくり』の視点から、市民の目線からのまちづくりに対する提案もおこなわれ始めています。市民自らが主体者となってまちづくりに対する手法を考えることは、これからの少子高齢社会を考えたまちづくりにとっては地域力を高めることにもつながる重要なことであると考えています。

このような観点から、私たちはみなさまに、団塊の世代をはじめとする地域資源の活用やその方法の提示、情報提供などの事業をおこない、高齢者が自立した社会生活を持続できるような地域コミュニティの実現、また安心・安全なまちづくりに寄与したいと考えております。

この目的を実現していくためには、社会的信頼を得て事業を継続していくことが大切であると考え、NPO 法人「コミュニティルネッサンス研究所」を設立しました。



Community Renaissance Research Center

本法人の設立

2009年10月29日に設立。(設立時：会員11名→2019年10月現在：会員35名、賛助会員17名)

代表理事：安川悦子(元福山市立女子短期大学学長)

会員になるには

本法人の目的に賛同された個人および団体でしたらどなたでもなれます
正会員・・・年会費5,000円
賛助会員・・・年会費2,000円

お問い合わせ先

特定非営利活動法人コミュニティルネッサンス研究所

広島県福山市木之庄町4-3-14

TEL & FAX : 084-917-5937

E-mail : h5s21bm6@ene.megaegg.ne.jp

特定非営利活動法人

コミュニティルネッサンス 研究所



コミュニティルネッサンス研究所の活動の3つの柱

地域が、これまで高齢者の方が生活の中で培ってこられた知恵や特技を出し合い、活かし合えるような場になればと考えています。

具体的には、地域の中で高齢者を含む人々が様々な活動を通じて、「こころ」と「からだ」を動かしお互いに助け合うことによって、「他人に必要とされているよこび」や「生きがい」、「達成感」を感じて、少しでも人生を楽しむことにつながればと思って活動しています。



地域づくり

1. ヒトやモノ（地域資源）の有効活用

具体的にはどんなことをするの？

- ★自分たちの経験や能力を活用したいと考える高齢者に交流の場を提供する
- ★地域福祉センター主催のまつりの企画・バザーの出店など

これまでの活動内容

- ★各種講座開催・・・当NPO法人会員が講師になり、都市農業、味噌づくり、小物づくり講座などの開催
- ★地域のまつりに参加・・・
- ・地域福祉センターの利用者さんの合唱団を結成し、まつりのステージで発表、利用者さんが製作した小物販売など
- ・当NPO法人バザー出店（おでん販売、ゲームなど）
- ★ツアー開催・・・歴史観光ツアー、産業観光ツアーなど

2. 地域の再生に関わる情報の発信

具体的にはどんなことをするの？

- ★福山の地域、社会、福祉に関連するブックレット等、冊子の出版
- ★まちづくりを研究、実践している方を招いての講演会
- ★ホームページ・ニュースレターの発行

これまでの活動内容

- ★冊子出版・・・まちづくりブックレット、被爆アオギリの紙芝居、防災ブックレット出版
- ★シンポジウム開催・・・シンポジウム「まちづくりと地域の自立」開催など



3. 安心・安全なまちづくり

具体的にはどんなことをするの？

- ★福山建築物耐震診断等評価委員会を設置して福山地域における小・中学校などの公共の建物の耐震診断や改修補強の評価を行い、耐震化の促進をはかる

これまでの活動内容

- ★福山建築物耐震診断等評価委員会開催・・・2012年10月～2019年度末までに、145物件を評価。

